

会 議 録

1 会議名

第1回上越市地域福祉計画策定委員会

2 議題（公開・非公開の別）

- (1) 委員長・副委員長の選任（公開）
- (2) 委員会の運営等について（公開）
- (3) 第3次上越市地域福祉計画の基本的な考え方について（公開）

3 開催日時

令和4年6月29日（水）午前11時から

4 開催場所

上越文化会館4階 大会議室

5 傍聴人の数

1人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：青木茂、佐藤将朗、井部佐恵子、滝澤愛子、吉崎譲、渡邊長芳、北峰恵祐、古澤悦雄、藤原敬人、竹田正子、木宮真、田中勝、金子光洋、牧井弥生
- ・事務局：小林福祉部長、宮崎福祉課長、牛木副課長、小林主任

8 発言の内容

(1) 開会

(2) 委嘱状交付

机上配付

(3) 挨拶

【小林^{はじめ}元 福祉部長】

本年度から福祉部長を務めております小林と申します。その前は高齢者支援、地域医療、児童福祉にも携わってきました。

今回、平成31年に策定した上越市第2次地域福祉計画が4年経過するというところで、

見直しのために皆様に委員を委嘱させていただき、ご議論いただきたいと思っている。

市役所に入って30年ぐらい経つが、市役所の仕事、特に福祉の分野の仕事がすごく増えていると感じている。ある意味良いことだと思っている。例えば介護保険制度は平成12年からスタートとしている。それまでは、介護といえば家の仕事だという風潮があったと思うが、介護についてもきちんと公的な支援をしたうえで、社会全体で支えていこうということで制度が始まった。また、こどもの数が最近減っているが、引き続き保育の需要がある。家族だけしか保育や介護をしていなかったものが、きちんと社会の中で解決していくという良い一面はあると思う。ただ一方で、核家族化が進み、高齢者のみ世帯が増えてきている中、なかなか行政だけで支えていくことが難しいのが現実である。

昨日もテレビで、水害があったときにひとり暮らしの高齢者をどのように避難させるかという番組を見た。個別避難計画を作成することが市町村の努力義務となっているが、上越市は大変進んでおり、ほぼすべての町内会で個別避難計画を作成している。これは住民の皆様のご協力が無ければ絶対にできないことで、例えば、市内に何千人というひとり暮らしの高齢者を行政が避難所までひとりひとり連れて行くというのは非常に難しいので、ご近所同士で助け合って避難所まで何とか連れて行ってくださるかというのが個別避難計画である。このようなものは地域の力がなければできないものだと思っている。

この地域福祉計画は、お互いの助け合いをどう促していくかというところが非常に大きな部分になっていると思っている。この4年間してきたことを踏まえ、次期計画をどうしていくかというところについて委員の皆様からお考えを聞かせていただきたいと思っている。

今の計画の基本理念は、「誰もが居場所と出番を持って、共に支え合いながら、安心してすこやかに自分らしく暮らせる地域社会の実現」ということで、非常に理想が高いものになっている。すぐに100点は取れないと思うが、少しずつ少しずつこの基本理念に向かっていきたい。

昨年11月に就任した中川市長が進める「健康」、「子育て」、「防災」など8つの公約プロジェクトについて、地域福祉計画と関連している部分がたくさんあるので、様々な部門とも連携しながら地域福祉計画を支える基本理念の実現に向けて進めていきたい。皆様方から闊達なご意見をいただきたい。

(4) 委員紹介

資料「上越市地域福祉計画策定委員名簿」の順に自己紹介

(5) 議事

ア 委員長・副委員長の選任

委員長に青木茂委員、副委員長に佐藤将朗委員を選任。

委員長あいさつ。

【青木茂委員長】

地域福祉計画を分かりやすく言うと、「地域共生社会（みんなで支え合っていく社会）を作るための実現計画」であると読み替えていきたいと思っている。行政には様々な計画があり、そのような縦割りの計画に横串を刺すようなイメージで捉えていただくと分かりやすいと思う。上越市民全員が幸せになるための計画であるので、非常に幅が広がる。それぞれの立場の委員から忌憚のないご意見をいただきながら進めていきたい。

イ 委員会の運営等について

【事務局（小林主任）】

資料1により説明。

【古澤委員】

委員会の今後の日程について、おおよその日程が示されているが、できればこの場で次の会議日程を決めてもらいたい。

【事務局（宮崎課長）】

今回は8月3日の午後を予定している。3回目以降もなるべく早く日程を決めて、分かり次第お示ししていきたい。

【青木委員長】

先ほどの説明の中で、会議録の公開とあったが、これも大事なことで、ここで議論されていることが市民の皆様に伝わるということが、市民からもある意味間接的に参加いただいているということにつながるのでは、忌憚のないご意見をいただきたい。

ウ 第3次上越市地域福祉計画の基本的な考え方について

【事務局（牛木副課長）】

資料2、資料3、参考資料により説明。

【青木委員長】

説明のあったとおり、行政ではこれだけ多くの計画を策定しているということが確認できたし、それらの計画を常に横に見ながら、また、民間団体ではあるが、行政としての役割の隙間を埋めていただいている上越市社会福祉協議会の上越市地域福祉活動計画ともリンクしていく必要があると思っている。

【北峰委員】

第2次地域福祉計画の4ページにある「計画における実施主体ごとの主な役割等」について、市の役割や関係機関に期待される主な役割がこの4年間でどうなってきたのかが示されることによって、今後の方向性が見えてくるのではないかと。

特に上越市社会福祉協議会の上越市地域福祉活動計画との連携が一番大事だと思う。この計画により住民の活動が展開されると思うが、次回の会議で説明はあるのか。

【事務局（牛木副課長）】

第2次地域福祉計画の振り返りという部分でまとめてあるものがある。皆様にお示ししたうえで、第3次地域福祉計画の策定に向けてご検討いただきたいと思っている。

あわせて地域福祉計画の活動をする部分である地域福祉活動計画についても、振り返りをお示しし、検討を進めていただきたい。

【青木委員長】

この計画を作りっぱなしにしないため、昨年、この計画の評価委員会を開催し、その評価を土台にしながら新しい計画を作るというプロセスになっている。

次回、事務局からその部分の説明をお願いしたい。

第2次地域福祉計画の策定に携わったが、基本理念に用いられている「居場所」と「出番」という大事なキーワードについて、当時、いろいろな意見の交換があった。すべての人に出番があるのか、居場所というものが家庭にある人もいれば、家庭に居場所がない人はどこに求めるのかといういろいろな意見もあった。

そのような意見を活かしながら具体的な基本目標、基本施策を固めていくと、社会福祉協議会の地域福祉活動計画にもつながっていく。そのようにつなぎながら計画をまとめていくというプロセスになる。

(6) その他

【事務局（宮崎課長）】

次回の開催日程に関する事務連絡。

(7) 閉会

9 問合せ先

福祉部福祉課福祉総務係

TEL : 025-520-5693

E-mail : fukusi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。